

中学歴史プリント（過去問類似）

奈良時代

名前

得点

/10

問1 701年に制定され、唐の法律を参考にしながら、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整える基礎となった法律を何と呼びますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 大宝律令 2. 御成敗式目 3. 十七条の憲法 4. 公事方御定書

問2 古代の日本において、戸籍に登録された成年男子には兵役の義務が課せられていました。この制度に基づき、唐や新羅など大陸からの侵攻に備える目的で、九州北部の警備にあたった兵士の名称を選びなさい。 (2025年 岐阜公立入試 類似)

1. 防人（さきもり） 2. 屯田兵（とんでんへい） 3. 健児（こんでい） 4. 衛士（えじ）

問3 律令時代の税制において、班田収授法に基づいて人々に割り当てられた口分田に対し、収穫した稲の約3%を納めることと定められていた税の名称を答えなさい。 (2019年 静岡公立入試 類似)

1. 租 2. 調 3. 庸 4. 雑徭

問4 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. A:国 B:郡 C:里 2. A:国 B:里 C:郡 3. A:道 B:府 C:県 4. A:藩 B:郡 C:村

問5 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。 (2017年 岐阜公立入試 類似)

1. その土地が農業に適しているか 2. 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史 3. その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類 4. 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説

問6 奈良時代、相次ぐ反乱や疫病の流行などの社会不安を取り除くため、聖武天皇が「仏教の力で国を治め、守る」という考えに基づき、東大寺に大仏を建立しました。このような当時の政治思想を何といいますか。 (2018年 三重公立入試 類似)

1. 鎮護国家 2. 浄土信仰 3. 神仏習合 4. 末法思想

問7 古代の日本において、九州北部に設置され「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれた地方行政機関である太宰府の主な役割として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山公立入試 類似)

1. 大陸との外交や防衛の拠点としての役割 2. 東北地方の蝦夷（えみし）を平定するための軍事拠点としての役割 3. 京都の警備や朝廷の監視を行うための役割 4. 西国の御家人を統制し裁判を行うための役割

問8 大宰府（現在の福岡県）に赴任した役人である大伴旅人らの交流や、そこから九州の警備に派遣された人々の心情を読み取ることができる資料についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。 2. 平安時代に紀貫之らによって編纂された、最初の勅撰和歌集である。 3. 鎌倉時代に後鳥羽上皇の命でまとめられた、情景の美しさを強調する歌集である。 4. 飛鳥時代に天武天皇の命で編纂が始まった、日本で最も古い歴史書である。

問9 奈良時代の743年に出来た、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにするのを認めた法令を何といいますか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

1. 三世一身の法 2. 班田収授法 3. 墾田永年私財法 4. 大宝律令

問10 律令国家が確立された後、政府は支配地域をさらに広げるために東北地方への進出を強めました。9世紀初め、桓武天皇によって征夷大將軍に任命され、蝦夷の軍事指導者であったアテルイを降伏させるなど、北方の支配拡大に大きく貢献した人物は誰ですか。 (2019年 徳島公立入試 類似)

1. 坂上田村麻呂 2. 中大兄皇子 3. 足利尊氏 4. 北条時宗

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大宝律令	文武天皇の時代の701年に完成したこの法律は、刑罰に関する「律」と、政治の仕組みや行政に関する「令」から構成されています。これによって、日本は法に基づき官僚が実務を担う本格的な律令国家としての体制を確立しました。
問2	答え 1 防人（さきもり）	律令国家の軍事制度において、九州北部の太宰府を中心に、対外防衛のために配置された兵士です。主に東国の農民が徴兵されましたが、九州までの旅費や食費、武器などは自己負担であったため、農民にとって極めて重い負担となりました。なお、屯田兵は明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士を指します。
問3	答え 1 租	班田収授法は、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、本人が死亡すると国に返させる制度です。この口分田の面積に応じて課せられた税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。他の税制である「調」は各地の特産物、「庸」は都での労役の代わりに布、「雑徭」は地方での労役を指します。
問4	答え 1 A:国 B:郡 C:里	律令制度の地方行政区分は、広い範囲から順に「国（くに）」・「郡（こおり）」・「里（り、のちに郷）」と定められていました。「筑前」は国名、「嶋」は郡名に該当するため、この順序が適切です。「道・府・県」は現代、「藩」は江戸時代の区分です。
問5	答え 2 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史	風土記はあくまで地方ごとの自然環境や文化、資源を記録した「地理書」としての性格を持っています。天皇の系譜や国家の成り立ちといった公式な歴史をまとめたものは「古事記」や「日本書紀」であり、地方の状況を報告させる目的で作成された風土記とはその役割が区別されています。
問6	答え 1 鎮護国家	聖武天皇は、天然痘の流行や政治的混乱が続く中、仏教の力によって国家の安泰を図ろうとしました。この思想を「鎮護国家」と呼び、これに基づいて全国に国分寺・国分尼寺が建立され、その総本山として都の平城京に東大寺が、そしてその本尊として大仏が造立されました。
問7	答え 1 大陸との外交や防衛の拠点としての役割	太宰府は現在の福岡県に置かれた地方行政機関です。大陸に近いという地理的特性から、唐や新羅などの使節を迎え入れる外交の窓口としての機能と、外国からの侵攻に備える国防の要石としての機能を兼ね備えていました。東北地方の拠点は鎮守府、朝廷の監視は六波羅探題などが担っており、太宰府とは設置された地域や目的が異なります。
問8	答え 1 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。	万葉集には、太宰府で「梅花の宴」を開いた大伴旅人や山上憶良といった貴族の歌のほか、東国から九州へ派遣された「防人」の切実な思いを詠んだ歌が多数収録されています。このように、身分を問わず多様な人々の作品が集められている点が、後の勅撰和歌集（古今和歌集など）とは異なる大きな特徴です。
問9	答え 3 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 1 坂上田村麻呂	律令国家の形成期から拡大期にかけて、東北地方に住む人々（蝦夷）への支配を広げることは国家の大きな課題でした。坂上田村麻呂は征夷大將軍として組織的な軍事行動を行い、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして政府の支配圏を北へと押し広げました。これは、律令国家が成熟し、領域国家として拡大していった過程を示す重要な出来事です。

中学歴史プリント（過去問類似）

奈良時代

名前

得点

/9

問1 律令制度のもとで、戸籍に基づいて6歳以上の男女に「口分田」という土地を与え、その人が亡くなると国に返還させる仕組みを何といいますか。 (2026年 栃木公立入試 類似)

1. 班田収授法 2. 墾田永年私財法 3. 三世一身の法 4. 公地公民の制

問2 律令時代の法令の解説書である「令義解」には、戸籍を6年ごとに作成することや、6歳以上の男女に土地を与える際、男性には二段、女性にはその3分の2を割り当てることが記されています。この制度において与えられた「口分田」の扱いについて、正しい説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 土地を与えられた者が死亡した場合には、その土地を国に返却しなければならなかった。 2. 新しく開墾した土地であれば、口分田として永久に私有することが認められた。 3. 生活が苦しくなった場合には、口分田を貴族や寺社に売却することが認められていた。 4. 口分田は家族の財産として、親から子へ代々引き継ぐことが義務付けられていた。

問3 奈良時代、唐から幾多の困難を乗り越えて来日した僧の鑑真が開いた、律宗の中心的な寺院として正しいものを次から選びなさい。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 唐招提寺 2. 東大寺 3. 中尊寺 4. 延暦寺

問4 大化の改新以降の律令国家において、班田収授法により与えられた口分田の面積に応じて課された税のうち、収穫した稲の約3パーセントを納めることとされたものを何と呼びますか。 (2021年 山口公立入試 類似)

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

問5 奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』に、飛鳥時代の重要な政治的動向として記録されている事柄はどれか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 中大兄皇子らによる大化の改新の進展 2. 桓武天皇による平安京への遷都 3. 平将門が関東で朝廷に対し起こした反乱 4. 一遍が各地を巡り歩いた踊り念仏の様子

問6 古代日本において、「漢委奴国王」の金印を授かった目的や、後に「富本銭」などの貨幣を鑄造した背景にある共通の意図として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 自国内の統治の正当性を高めるとともに、中央集権的な国家体制を強化し、周辺諸国や民衆に対して権威を示すため。 2. 中国や朝鮮半島との貿易において、日本独自の通貨を国際的な決済手段として流通させ、経済圏を支配するため。 3. 渡来人による技術革新を抑制し、伝統的な狩猟採集社会を維持するための儀礼的な道具として活用するため。 4. 仏教の教えに基づき、金や銅などの金属資源を全て寺院の建立に充てることで、争いのない平和な社会を築くため。

問7 奈良時代の律令制度において、土地と民衆は国家のものであるという「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられた土地を何と呼びますか。 (2024年 石川公立入試 類似)

1. 口分田 2. 墾田 3. 名田 4. 佃

問8 律令国家の形成と変化について述べた次の記述のうち、出来事の時期が古い順に並んでいるものはどれですか。対象となる出来事は「大宝律令の制定」「墾田永年私財法の制定」「平安京への遷都」の3点とします。 (2020年 沖縄公立入試 類似)

1. 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都 2. 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 3. 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 4. 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定

問9 大宝律令が制定された飛鳥時代後半から奈良時代にかけて、律令国家は戸籍に基づいて人々に土地を割り当てました。班田収授法により、6歳以上の男女に与えられ、その人が亡くなると国に返還することとされた耕作地を何といいますか。 (2016年 静岡公立入試 類似)

1. 口分田 2. 墾田 3. 名田 4. 荘園

答え合わせ・解説

問1	答え 1 班田収授法	唐の均田制を参考に導入された制度で、すべての土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則に基づいています。与えられた口分田の面積に応じて、収穫の約3%を納める「租」などの税が課されました。人々を戸籍に登録し、土地を割り当てることで、国家が直接人民を支配し、安定した税収を得ることが目的でした。
問2	答え 1 土地を与えられた者が死亡した場合には、その土地を国に返却しなければならなかった。	律令制度における班田収授法では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田が割り当てられましたが、これはあくまで国から貸し出された土地という扱いであったため、本人が死亡した際には国に返す決まり（収授）がありました。新しく開墾した土地の私有を認めたのは後の「墾田永年私財法」であり、口分田の売買や世襲は禁止されていました。
問3	答え 1 唐招提寺	鑑真は、正しい仏教の戒律を伝えるために日本へ招かれました。5度の渡航失敗による失明という困難を乗り越え、平城京の朱雀大路沿いの区画にこの寺院を建立しました。境内には金堂や講堂が立ち並び、鑑真の姿を写した鑑真和上坐像などの貴重な文化財が伝わっており、現在は「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産に登録されています。
問4	答え 1 租	律令制度における税制の基本は、戸籍に基づいて人々に口分田を貸し与える代わりに、税を徴収する仕組みでした。このうち、収穫した稲の一部を納めるものは「租」と呼ばれます。租として納められた稲は、地方の役所である国衙（こくが）などの倉庫に蓄えられ、主に地方政治の財源として利用されました。
問5	答え 1 中大兄皇子らによる大化の改新の進展	『日本書紀』は720年に完成した、神代から持統天皇までの出来事を漢文で記した正史です。中大兄皇子（天智天皇）らが蘇我氏を倒して着手した大化の改新は7世紀の出来事であるため、この書物の記録対象に含まれます。一方、平安京遷都は8世紀末、平将門の乱は10世紀、一遍の活動は鎌倉時代であり、いずれも書物の完成以降の出来事であるため記述されていません。
問6	答え 1 自国内の統治の正当性を高めるとともに、中央集権的な国家体制を強化し、周辺諸国や民衆に対して権威を示すため。	古代の王たちが中国の王朝から金印を授かったのは、中国の皇帝から王としての承認（冊封）を受けることで、国内の他の勢力に対して自分の支配の正当性を誇示する目的がありました。また、飛鳥・奈良時代に貨幣が鑄造された背景には、唐の制度に倣った律令国家を建設する過程で、国家の権威を示すとともに、官人の給与支払いや平城京造営の費用に充てるという政治的な目的がありました。
問7	答え 1 口分田	律令制度のもとでは、全ての土地と人民を天皇が支配するという公地公民の原則がとられていました。これに基づき、班田収授法によって戸籍に登録された人々に一定の土地が割り当てられ、収穫の約3%を「租」として納める義務が課されました。この土地は本人の死後に国へ返還することとされていました。
問8	答え 1 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都	701年に大宝律令が制定されて律令国家の仕組みが整い、その後、人口増加による土地不足を解消するため743年に墾田永年私財法が制定されました。そして8世紀末の794年に、政治の刷新を目指して平安京への遷都が行われました。これらの流れは律令体制が確立した後に、土地制度の変化などを経て平安時代へと移行していく過程を示しています。
問9	答え 1 口分田	律令制のもとでは、土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則がありました。班田収授法はこの原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に、その身分に応じて耕作地を貸し出し、死後は国に返還させる仕組みです。これにより、国家は安定した税（租）の徴収を目指しました。

問1 律令国家が農民に「口分田」を与えた主な目的と仕組みの説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 静岡公立入試 類似）

1. 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。
2. 農民の私有地を認め、さらに開墾した土地を永久に所有させるため。
3. 地方の豪族が所有していた土地を、農民が買い取れるようにするため。
4. 貴族や寺社の勢力を強めるために、広大な土地の管理を農民に委託するため。

問2 奈良時代、聖武天皇は社会の不安を鎮めるために、仏教の力によって国を守るという考えを政治に取り入れました。この思想を何と呼びますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 鎮護国家の思想
2. 浄土真宗の教え
3. 国家神道の考え
4. キリスト教の教義

問3 奈良時代末期にまとめられた日本最古の歌集である『万葉集』の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の和歌が収められている。
2. 醍醐天皇の命令によって編集された、最初の勅撰和歌集である。
3. 武士の台頭を背景に、力強い歌風の和歌を中心に集められている。
4. 平安時代の中期に、平仮名を用いて女性の心情を細やかに表現している。

問4 奈良時代の国際交流の様子を伝える資料として、東大寺には当時の宝物を納めた高床式の倉庫が残されています。この建物の名称と、そこに保管されている品々が示す当時の状況について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 正倉院（しょうそういん）には、唐や西アジアの文化の影響を受けた工芸品が納められ、天平文化の国際性を今に伝えている。
2. 法隆寺（ほうりゅうじ）には、日本独自の風土や好みに合わせた国風文化の作品が多く納められ、貴族の生活の様子を伝えている。
3. 鳳凰堂（ほうおうどう）には、浄土信仰に基づく仏像が安置され、平安時代の武士の台頭による社会不安を反映している。
4. 唐招提寺（とうしょうだいじ）には、鑑真が持ち込んだ経典が納められ、遣隋使によってもたらされた仏教文化の広まりを示している。

問5 奈良の正倉院に収められている「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」には、熱帯アジアを原産とする紫檀という木材が使われ、砂漠を歩くラクダの装飾が施されています。このような特徴を持つ宝物が日本に存在する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。
2. 聖徳太子が派遣した遣隋使が、インドや西アジアの諸国と直接的な外交関係を樹立し、それらの国々から直接輸入したものである。
3. 当時の日本は西アジア諸国と大規模な直接貿易を行っており、主に海路を通じてこれらの豪華な楽器が大量に輸入された。
4. 唐が周辺諸国との交流を遮断していたため、日本は朝鮮半島の新羅を経由してのみ、間接的に西アジアの文化を取り入れていた。

問6 律令国家の地方支配において、日本列島が多くの「国」に細かく区分されていた地理的状況を踏まえ、当時の行政運用の実態について述べた文を選びなさい。（2018年 奈良公立入試 類似）

1. 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。
2. 各地方の境界線は明確ではなく、地域の有力者が地頭として独自の判断で境界を定めていた。
3. 九州から東北まで、すべての地域に太政官の出張機関である八省の支局を置き、官僚が直接農作業を指導した。
4. 国司は中央から派遣されるのではなく、その土地に古くから住む豪族が世襲でその地位を独占し続けた。

問7 奈良時代の税制において、現在の島根県にあたる地域から、出雲の絹布や絹糸、石見の紙、隠岐のアワビやイカといった「その土地の産物」が都に納められていたことを示す記録があります。このような、各地の特産品を中央政府に納める税を何といいますか。（2024年 島根公立入試 類似）

1. 租
2. 庸
3. 調
4. 防人

問8 藤原鎌足から不比等へと続く藤原氏の系図において、不比等の娘である光明子が聖武天皇の皇后として記されている時期の文化について、その特色として最も適切な説明を選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化
2. 小野妹子が遣隋使として派遣された時期に、飛鳥地方を中心に栄えた日本最古の仏教文化
3. 藤原頼通が平等院鳳凰堂を建立した時期に、日本の風土や生活に合わせた優雅な国風文化
4. 奥州藤原氏が平泉に本拠を置き、中尊寺金色堂を建立した時期の東北地方独自の文化

答え合わせ・解説

問1	答え 1 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。	律令国家は、戸籍を作成することで人民の数と構成を把握し、それに基づき口分田を配分しました。これによって、農民に納税（租）の義務を負わせ、国家を運営するための財源を安定的に確保しようとしたのです。
問2	答え 1 鎮護国家の思想	8世紀の日本では、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によってこれらの災いから国家を守り、安定させようとした。この「仏教が国を守る」という考え方は鎮護国家と呼ばれ、当時の国家的な仏教政策の根幹となりました。
問3	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の和歌が収められている。	奈良時代の文化を代表する『万葉集』は、約4500首の和歌を収録した日本最古の歌集です。山上憶良のような貴族や歌人だけでなく、東国の農民の歌（東歌）や、九州の警備に当たった人々の歌（防人の歌）など、身分を問わず当時の人々の素直な感情が詠み込まれている点が最大の特徴です。
問4	答え 1 正倉院（しょうそういん）には、唐や西アジアの文化の影響を受けた工芸品が納められ、天平文化の国際性を今に伝えている。	東大寺の正倉院には聖武天皇の遺愛品をはじめ、遣唐使が持ち帰った数多くの宝物が保管されています。これらの品々にはペルシャ（イラン）風の模様が施されたガラス器や、唐で作られた楽器などが含まれており、当時の日本が大陸との交流を通じて遠く西方の文化とも繋がっていた「シルクロードの終着点」であったことを象徴しています。
問5	答え 1 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。	奈良時代の日本は遣唐使を派遣し、当時世界の中心の一つであった唐（中国）の文化を積極的に取り入れました。唐はシルクロードを通じて西アジアやインドと盛んに交流していたため、それらの地域の文化や物産が唐に集まっていた。日本は唐を経由することで、間接的に遠く離れた西アジアやインドの国際色豊かな文化（天平文化）を享受することができたのです。遣唐使による直接輸入や、当時の日本が西アジアと直接海路貿易を行っていたという事実は確認されていません。
問6	答え 1 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。	律令国家は、細かく分けられた各国の拠点に「国府」を置き、中央から派遣された国司がそこで政務を行いました。中央の太政官からの命令を迅速に伝え、地方の情報を吸い上げるために交通網も整備されました。なお、国司の下で実務を支えた郡司には現地の豪族が任命されましたが、国司自体は中央から派遣される官吏であり、世襲ではありません。
問7	答え 3 調	奈良時代の律令制度のもとでは、民衆に対して様々な税が課せられました。このうち、布や紙、各地の海産物といった「地方の特産品」を都まで運んで納める制度を「調」と呼びます。現在の島根県（出雲・石見・隠岐）から納められた品々が多様であるように、全国各地の地理的特性に応じた物品が徴収され、都の貴族の給与や政府の運営費用に充てられました。
問8	答え 1 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化	聖武天皇の皇后である光明子（光明皇后）が活躍した奈良時代中期の文化は天平文化と呼ばれます。この時期は、遣唐使によって唐の進んだ制度や文化だけでなく、シルクロードを経由して西アジアやインドの文化も日本に伝わりました。また、聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺の大仏などが造られたことも大きな特徴です。

中学歴史プリント（過去問類似）

奈良時代

名前

得点

/8

問1 奈良時代の平城京には、律令制度に基づいて地方から多くの物資が運び込まれました。当時の税制度である「租・庸・調」のうち、都での労働の代わりに布を納める「庸」や、地方の特産物を納める「調」が都に運ばれた実態について、正しい説明を選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。
2. 都の役人が地方へ出向き、それぞれの村で物資を回収して都へ持ち帰っていた。
3. これらの税はすべて、九州の防衛を担当していた防人の給与として直接送られていた。
4. 輸送中の盗難を防ぐため、すべての物資は海路を使って瀬戸内海経由で運ばれた。

問2 奈良時代、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため、全国は「国・郡・里」という行政単位に区分されました。このうち、都から派遣され、地方支配の責任者として行政を担った役職は何ですか。（2022年 広島公立入試 類似）

1. 国司
2. 郡司
3. 守護
4. 地頭

問3 聖武天皇が鎮護国家の思想に基づき、中央の東大寺に対して、日本各地の諸国に建立させた寺院の名称として適切なものはどれですか。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. 国分寺
2. 氏寺
3. 禪寺
4. 本山

問4 律令制度下の十世紀ごろの戸籍には、実際よりも女子の人数が極端に多く記録されるという不自然な統計が見られます。このように男子を女子と偽って登録する行為が横行した背景として、正しい説明はどれですか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。
2. 土地の面積に応じて課される「租」の負担が男子にのみ集中しており、女子は納税の義務がなかったため。
3. 女子の方が男子よりも口分田を多く割り当てられる決まりがあり、より広い耕作地を得るため。
4. 当時の医療技術では男子の死亡率が非常に高く、家系を存続させるために女子として登録する必要があったため。

問5 聖武天皇が「鎮護国家」の思想に基づいて全国に展開した政策として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 全国の諸国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都の東大寺には大仏を造った
2. 平安京に東寺と西寺を建て、全国の主要な山々に修験道の道場を開いた
3. 地方の豪族を郡司に任命し、各地の神社を管理させる制度を整えた
4. 遣唐使を派遣して最新の儒教を取り入れ、官僚養成のための大学を全国に作った

問6 律令国家が地方を支配するために整備した「国司」と「郡司」という役職について、その選出方法や役割を正しく説明したものはどれですか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 中央政府から派遣された官吏が国司として地方を統括し、そのもとで現地の有力な豪族が郡司に任命されて実務を担った。
2. 現地の有力な豪族が国司として天皇から直接任命され、そのもとで中央政府から派遣された官吏が郡司として実務を監視した。
3. 国司と郡司はともに都の貴族から選ばれる決まりであり、数年ごとに全国の地方を交代で回ることによって不正を防いだ。
4. 国司と郡司はともに現地の有力豪族による世襲制とされ、中央政府が関与せずに独自の徴税を行う権利を持っていた。

問7 奈良時代の文化を象徴する建造物の一つに、東大寺の正倉院がある。この建物にペルシャやインドの影響を受けた工芸品が多数納められている理由として、当時の日本の対外関係をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 遣唐使が、唐の都である長安に集まっていた西アジアや中央アジアの文物を日本に持ち帰ったため
2. 日本独自の国風文化が広まり、海外との交流を断って国内の伝統工芸を保護したため
3. モンゴル帝国によるユーラシア大陸の統一により、陸路での貿易がかつてないほど活発になったため
4. 仏教の伝来とともに、百済（くだら）から多くの渡来人が工芸技術を直接日本へ伝えたため

問8 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。
2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。
3. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。
4. 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。	律令国家の財政を支えた「庸」や「調」は、農民が自ら都まで運ぶ「運脚（うんきゃく）」という仕組みによって平城京に集められました。食料を持参して長い道のりを歩くこの負担は、当時の農民にとって非常に重いものでした。平城京は、全国各地の富や特産物が集まる物流の拠点としての役割も持っていました。
問2	答え 1 国司	大化の改新以降、律令制度の整備によって天皇を中心とした中央政府が全国を直接支配する仕組みが作られました。中央政府から各地方（国）に派遣された官吏を国司と呼び、その下の単位である「郡」では、地元の有力な豪族が郡司に任命されて実務を補佐しました。これにより、地方の情報を中央が把握し、統治する体制が整えられました。
問3	答え 1 国分寺	聖武天皇は、仏教の力で国を護るために、全国の国（地方行政単位）ごとに国分寺と国分尼寺を建てるよう命じました。都の平城京に作られた東大寺はそれらの総本山としての役割を担い、全国的なネットワークを通じて国家の安寧を祈る体制が整えられました。これは、地方に対する中央政府の権威を示す役割も果たしました。
問4	答え 1 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。	律令制において、収穫した稲を納める「租」は男女ともに課されていましたが、特産物を納める「調」や、都での労役の代わりとなる「庸」、地方での労働である「雑徭」といった重い負担は、主に成人男子を対象としていました。そのため、こうした厳しい労役や現物納の負担から逃れるために、男子を女子と偽って戸籍に登録する「偽籍（ぎせき）」が増えました。当時の統計で女子の割合が異常に高いのは、生存率の違いではなく、この税逃れが原因です。
問5	答え 1 全国の諸国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都の東大寺には大仏を造った	聖武天皇は、都である平城京の東大寺に総国分寺としての役割を持つ大仏を建立するとともに、地方の各国には国分寺と国分尼寺を設置させました。肥前国などの地方の国分寺跡からは、当時使われていた瓦なども出土しており、この政策が全国規模で行われたことが裏付けられています。
問6	答え 1 中央政府から派遣された官吏が国司として地方を統括し、そのもとで現地の有力な豪族が郡司に任命されて実務を担った。	律令制下において、全国は「国・郡・里」の行政単位に区分されました。中央政府（都）から派遣されたのが「国司」であり、地方の行政・司法・軍事の責任者として、現地の事情に詳しい有力豪族から任命された「郡司」を指揮しました。このように、中央から派遣された官吏と地元の実力者を組み合わせることで、地方支配の安定化を図ったのが特徴です。
問7	答え 1 遣唐使が、唐の都である長安に集まっていた西アジアや中央アジアの文物を日本に持ち帰ったため	天平文化が国際色豊かになった背景には、遣唐使の派遣があります。当時の唐の都・長安は、シルクロードを通じて西アジアやインドなど世界各地の文化が集まる国際都市でした。遣唐使がこれらの文化や制度を日本へ持ち帰ったことで、日本でも国際的な性格を持つ文化が開花しました。
問8	答え 1 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。

問1 班田収授法によって口分田を与えられた農民には、さまざまな税の負担が課せられました。このうち、口分田の収穫から約3パーセントの稲を納める義務を何と呼びますか。その名称と内容として適切なものを選びなさい。（2018年 大阪公立入試 類似）

- 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。
- 「調」と呼ばれ、地方の特産物を都まで運んで納める負担であった。
- 「庸」と呼ばれ、都での労役に代わり布を納める負担であった。
- 「公出挙」と呼ばれ、国から稲を借りて利息をつけて返す制度であった。

問2 8世紀頃の讃岐国（現在の香川県）において、地方政治の拠点であった「讃岐国府」のような役所を中心に行われた統治体制の説明として、適切なものはどれですか。（2021年 香川公立入試 類似）

- 中央から派遣された官吏が、地域の有力豪族を実務担当者に任命し、戸籍の作成や租税の徴収を管理した。
- 武士の棟梁が地方ごとに地頭を派遣し、現地の豪族であった郡司に代わって土地の管理や警察権を行使した。
- 各地の有力な豪族が藩主となり、中央政府の干渉を受けことなく独自の法律や税制を用いて領地を統治した。
- 中央から派遣された郡司が、現地の有力者である国司を指導することで、都の文化や制度を全国に広めた。

問3 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

- A:国 B:郡 C:里
- A:国 B:里 C:郡
- A:道 B:府 C:県
- A:藩 B:郡 C:村

問4 8世紀の文化的な特徴について、当時の社会背景と関連付けた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉公立入試 類似）

- 遣唐使によってもたらされた唐の文化と仏教が融合し、国家の安定を願う性格の強い文化が形成された。
- 大陸との交流を絶ったことで、日本独自の感性を重視する優美な和風文化が国風文化として開花した。
- 聖徳太子の執政のもと、日本で最初の仏教文化として、大陸の南北朝時代の様式が取り入れられた。
- 武士の台頭に伴い、質実剛健で力強い様式が好まれ、禅宗の影響を強く受けた文化が普及した。

問5 奈良時代の文化の特色について述べた文として、国際色豊かな文化が形成された背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 福岡公立入試 類似）

- 遣唐使が派遣されたことで、唐の都である長安に集まっていた西アジアなどの文化が日本に持ち込まれたため。
- 聖武天皇が高句麗から招いた僧侶たちが、西アジアの最新の建築技術や工芸品を日本に直接伝えたため。
- 律令制度の確立により、西アジアの諸国と直接の外交ルートが開かれ、大規模な貿易が行われたため。
- 後醍醐天皇が新しい政治を始めにあたり、それまで交流がなかったペルシャ地方の文化を積極的に取り入れたため。

問6 聖武天皇が発した「大仏造立の詔」には、「富のある者も、労働力を提供する者も、一枝の草や一握りの土を持ち寄るような気持ちで協力してほしい」という意図が記されています。この事業を円滑に進めるため、聖武天皇が民衆の協力を得るために協力させた人物と、その背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

- 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた
- 唐から招いた鑑真に命じて、仏教の厳しい戒律を民衆に守らせることで労働を強いた
- 摂政であった聖徳太子に命じて、十七条の憲法によって役人の規律を正させた
- 有力貴族の藤原氏を動員し、荘園の農民を強制的に都へ連行して工事を行わせた

問7 奈良時代、聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺や国分尼寺を建立した目的として最も適切なものはどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- 仏教の力によって伝染病や社会の不安を鎮め、国家の安定を図ろうとする鎮護国家の思想を実践するため。
- 地方の豪族に寺院を管理させることで、中央政府による土地と人民の支配を強化し、班田収授法を徹底するため。
- 遣唐使の派遣に必要な膨大な経費を賄うため、全国の寺院を拠点として広く寄付を募り、財政を立て直すため。
- 海外からの軍事的な脅威に対抗するために、寺院を軍事拠点として整備し、僧兵を訓練して防衛力を高めるため。

問8 律令国家の地方支配において、日本列島が多くの「国」に細かく区分されていた地理的状況を踏まえ、当時の行政運用の実態について述べた文を選びなさい。（2018年 奈良公立入試 類似）

- 中央政府からの命令を全国へ貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。
- 各地方の境界線は明確ではなく、地域の有力者が地頭として独自の判断で境界を定めていた。
- 九州から東北まで、すべての地域に太政官の出張機関である八省の支局を置き、官僚が直接農作業を指導した。
- 国司は中央から派遣されるのではなく、その土地に古くから住む豪族が世襲でその地位を独占し続けた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。	口分田の面積に応じて課せられた税が「租」です。これは収穫した稲の約3%という比較的軽い負担であり、地方にある「正倉」という倉庫に納められ、地方政治の財源や飢饉に備えた備蓄として利用されました。これに対し、都まで運ぶ必要があった「調」や「庸」は農民にとって非常に重い負担となっていました。
問2	答え 1 中央から派遣された官吏が、地域の有力豪族を実務担当者に任命し、戸籍の作成や租税の徴収を管理した。	国府は、都から派遣された国司が執務を行う地方行政の中心地でした。ここで国司は、現地の豪族から選ばれた郡司を指導し、律令に基づいた統治を行いました。郡司は代々その土地を治めてきた豪族が任命されたため、土地の事情に精通しており、国司はその影響力を利用して徴税などを効率的に進めました。守護や地頭が設置されるのは後の鎌倉時代であり、藩主による統治は江戸時代のことであるため、律令時代の国司・郡司の仕組みとは異なります。
問3	答え 1 A:国 B:郡 C:里	律令制度の地方行政区分は、広い範囲から順に「国（くに）」・「郡（こおり）」・「里（り、のちに郷）」と定められていました。「筑前」は国名、「嶋」は郡名に該当するため、この順序が適切です。「道・府・県」は現代、「藩」は江戸時代の区分です。
問4	答え 1 遣唐使によってもたらされた唐の文化と仏教が融合し、国家の安定を願う性格の強い文化が形成された。	天平文化は、遣唐使の往来によってもたらされた唐の進んだ文化や、その先の西アジア・インドなどの国際的な影響を強く受けています。また、社会不安を解消するために仏教の力を借りようとした聖武天皇の「鎮護国家」の思想が、大仏造立や寺院建築といった形で具現化された点が、他の時代の文化との大きな違いです。
問5	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、唐の都である長安に集まっていた西アジアなどの文化が日本に持ち込まれたため。	当時の唐は国際的な帝国であり、都の長安には西アジア（ペルシャ）などの文化が流入していました。遣唐使や留学生、僧侶たちが、仏教の経典とともにこれらの国際色豊かな文化を日本に持ち帰り、聖武天皇を中心とする天平文化に大きな影響を与えました。
問6	答え 1 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた	聖武天皇は大仏造立を国家の強制的な事業とするのではなく、広く民衆が自発的に参加する形を理想としました。そのため、当時は政府の許可なく布教を行い弾圧の対象であったものの、橋の建設やため池の築造などの社会事業を通じて民衆から深く慕われていた僧の行基を登用しました。行基は大仏造立の責任者（勸進）として、多くの人々から寄付や労働力を募る役割を果たしました。
問7	答え 1 仏教の力によって伝染病や社会の不安を鎮め、国家の安定を図ろうとする鎮護国家の思想を実践するため。	聖武天皇の治世では、天然痘の流行や相次ぐ政変、干ばつなどにより社会が非常に不安定な状況にありました。このような災厄から国を守るため、天皇は仏教の力を借りて国を治める「鎮護国家（ちんごこっか）」の考えに基づき、東大寺の大仏造立や、全国各地への国分寺・国分尼寺の建立を命じました。これは宗教の力で民衆の心を結びつけ、国家の平穏を願ったものです。
問8	答え 1 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。	律令国家は、細かく分けられた各国の拠点に「国府」を置き、中央から派遣された国司がそこで政務を行いました。中央の太政官からの命令を迅速に伝え、地方の情報を吸い上げるために交通網も整備されました。なお、国司の下で実務を支えた郡司には現地の豪族が任命されましたが、国司自体は中央から派遣される官吏であり、世襲ではありません。